



- [凡例] (特): 特定防火設備  
 (防): 防火設備  
 ---: 延焼ライン  
 //: 敷地内道路

建案面積	$21.0 \times 7.0 + 27.0 \times 28.0$	903.0	m <sup>2</sup>
床面積	3階	$21.0 \times 7.0 + 27.0 \times 14.0 + 14.0 \times 14.0 - 7.0 \times 7.0$ (吹抜付)	672.0
	2階	$21.0 \times 7.0 + 27.0 \times 14.0 + 9.5 \times 14.0 - 7.0 \times 7.0$ (吹抜付)	609.0
	1階	$21.0 \times 7.0 + 27.0 \times 28.0$	903.0
		合計	2184.0

※方眼を無視して作図してはいけない。

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。  
 なお、要求図面では表せない計画についても記述する。

(1)「展示関連諸室」と「アトリエ関連諸室」のゾーニングについて考慮したこと

展示関連諸室のうち多目的展示室は、天井高さが高いことと、もっとも大きい室で多数の利用が見込まれるため、利便性を考慮して1階とし、その他の展示関連諸室は2階にまとめて計画した。アトリエ関連諸室は、屋上庭園との関連性を考慮し3階にまとめて計画した。階別にゾーニングする事で、利用者にとって分かり易く、明快な計画とした。

(2)展示物等の移動に配慮した、荷解き室の搬入口から各展示室までの動線について考慮したこと

荷解き室と人荷用エレベータを近接させ、人荷用エレベーターから2階の各展示室までの動線がなるべく短くなるよう配慮した。また、1階についても、荷解き室から多目的展示室までの動線がなるべく単純で短くなるよう配慮した。移動に配慮し、搬入経路となる廊下・出入口の幅を有効2m以上確保した。

(3)分館と本館との来館者の動線について考慮したこと

荷解き室と人荷用エレベータを近接させ、人荷用エレベーターから2階の各展示室までの動線がなるべく短くなるよう配慮した。また、1階についても、荷解き室から多目的展示室までの動線がなるべく単純で短くなるよう配慮した。移動に配慮し、搬入経路となる廊下・出入口の幅を有効2m以上確保した。

(4)展示室A及びBについて、特記事項を踏まえたそれぞれの「室の設え」について考慮したこと

A:光やその陰影に配慮した展示を行うことより、自然光を取り入れた展示にも対応できるよう、展示室外壁面に高窓を設け、室内側に光拡散または遮断出来るルーバーを設置した。

B:映像・音響等を用いた展示を考慮し、映像を映し出せる壁面を広く確保するため、無窓で計画した。また、音響の反響等を考慮し、吸音性の高い天井仕上材を用いる計画とした。

(5)吹抜け及びその周囲の空間において、多くの自然光を取り入れるために平面・断面計画や開口部について工夫したこと

自然光が届きにくく、暗くなりがちな建物中央付近に3層吹き抜けを設ける計画とし、多くの自然光を取り入れるために、上部に開閉式のトップライトを設ける計画とした。また、吹抜け周囲にはホワイエやホール、休憩コーナーなどを計画し、明るく解放的な共用部となるよう配慮した。

(6)公園への眺望(西面及び南面)や自然採光を確保しつつ、<sup>冷房時</sup>の日照負荷抑制を図るために窓面の配置と大きさ及び日射遮蔽手法等について工夫したこと(Low-Eガラスの工夫除く)

西面 西日による展示物等の影響を考慮し、展示関連諸室には西面の窓を設けない計画とした。2・3階の待合コーナーおよび創作アトリエには公園への眺望および自然光を確保できる開口部を設け、時間帯等によって日射を遮蔽できる垂直ルーバーを設置し、冷房負荷軽減に配慮した。

南面 南面の公園への眺望および自然光を十分に取り込めるよう、カフェ・創作アトリエ等なるべく大きく開口部を設けられるよう工夫した。開口部上部には庇を設け日射を遮蔽できる計画とし、冷房負荷の軽減に配慮した。

※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。  
 製図試験comIDのない方はIDは空欄をお願いします。受験番号とかは書かないようにしてください。  
 サイトアップ不可の方はサイトアップ不可の部分にチェックをお願いします。

(7)屋上庭園【出口・通路及び客土範囲】における断面の構造等計画(梁断面、スラブ位置・厚さを決定したときの考え方、バリアフリーの考え方及び防水の考え方)について考慮したこと

梁断面、スラブ位置・厚さ 梁は外周部のみ500×800、その他はPC梁500×1000以上とし、庭園の荷重に配慮した。スラブはt200とし、客土厚さおよび耐根層等を考慮して他より700mm下げて計画した。

バリアフリーの考え方 共用部および創作アトリエの床と屋上庭園床は高低差が無く同じレベルとし、バリアフリーに配慮した。また、出入口はスライドドアで計画し、利用しやすいよう考慮した。

防水の考え方 防水層は耐久性・施工性等を考慮してアスファルト防水とし、水が滞留しないよう、水勾配が1/100以上確保できるように計画した。

(8)建築物の構造種別・架構形式・スパン割りについて考慮したこと及び主要な部材の断面寸法

構造種別	構造種別は建物規模及び用途を考慮し、耐震性・耐久性・耐火性・気密性・遮音性に優れた鉄筋コンクリート造とした。			
架構形式	架構形式は人生の高い純ラーメン架構とし、スパン割りは要求室面積に適し経済的な7m×7mと7m×6mの併用とした。			
主要な部材の断面寸法 (mm)	柱	750×750 (PC梁下部のみ:800×800)	大梁	500×800(PC梁:500×1000以上)
	床	t=200	小梁	300×600
			壁	t=200

(9)多目的展示室の構造計画(柱、梁、床、天井、スパン等)について特に考慮したこと及び部材の断面寸法

構造計画	多目的展示室上部は無柱で大スパンをなる為、たわみやび割れを考慮してプレストレストコンクリート梁(PC梁)とした。PC梁を受ける柱は荷重を考慮して、800×800にサイズアップし配筋も割増した。スラブはt=200とし、庭園の荷重を考慮して小梁を1スパンに2本ずつ配置して補強した。			
部材の断面寸法 (mm)	柱	750×750 (PC梁下部のみ:800×800)	大梁	500×800(PC梁:500×1000以上)
	床	t=200	小梁	300×600
			壁	t=200

(10)多目的展示室の空調用吹出口の設置位置(床、壁、天井、幅木)を一つ以上選択し、その位置とした理由及び配慮したこと

多目的展示室は天井が高く、暖房期の空調が天井付近に滞留する事について対策が必要なため、空調用吹出口は天井面とし、吸込口は空調機室扉の床付近にガラリ設け、空調されていない部分やショートサーキットが生じにくく、明快な空調経路となるよう配慮した。

サイトアップ不可